

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第1部門第2区分
 【発行日】令和2年5月14日(2020.5.14)

【公表番号】特表2019-511311(P2019-511311A)
 【公表日】平成31年4月25日(2019.4.25)
 【年通号数】公開・登録公報2019-016
 【出願番号】特願2018-551766(P2018-551766)
 【国際特許分類】

A 6 1 B 1/00 (2006.01)

A 6 1 B 1/012 (2006.01)

G 0 2 B 23/24 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 1/00 6 5 0

A 6 1 B 1/012 5 1 1

A 6 1 B 1/00 7 1 2

G 0 2 B 23/24 A

【手続補正書】

【提出日】令和2年4月1日(2020.4.1)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

水筒キャップ(20)であって、

前記キャップの外表面から外方に所定の長さ延在し、導管部材と係合して内視鏡装置に流体を供給あるいは内視鏡装置からの流体を受容する少なくとも1つのポートと、

水筒のおねじと係合するように構成されためねじと、

前記キャップの内部側壁から外方に延在し、前記キャップが前記水筒と係合した際に、前記水筒の首部を防水密閉するように構成された、実質的に水平な接触面(114)を有する環状シールプラットフォーム(112)と、
 を備えることを特徴とする、水筒キャップ。

【請求項2】

前記ポートは、前記環状シールプラットフォーム(112)の内側に位置する、請求項1に記載の水筒キャップ。

【請求項3】

前記キャップの内部上面から外方に延在し、前記キャップが前記水筒に係合した際に、前記水筒の首部を防水密閉するシールリング(116)を備える、請求項1に記載の水筒キャップ。

【請求項4】

前記シールリング(116)は、実質的にテーパ形状である、請求項3に記載の水筒キャップ。

【請求項5】

前記シールリングの内部側壁(118)は実質的に垂直であり、前記シールリングの外部側壁は(120)は実質的に傾斜している、請求項3に記載の水筒キャップ。

【請求項6】

前記シールリングの外部側壁及び前記キャップの内部側壁は、前記キャップが前記水筒

に係合した際に、前記水筒の首部を防水密閉するように構成される、請求項 3 に記載の水筒キャップ。

【請求項 7】

前記ポートは、前記シールリング (1 1 6) の内側に位置する、請求項 3 に記載の水筒キャップ。

【請求項 8】

前記シールリング (1 1 6) は、前記環状シールブラットフォーム (1 1 2) よりも前記ポートに近接する、請求項 3 に記載の水筒キャップ。

【請求項 9】

前記キャップの外表面に位置するグリップ (1 1 0) を備える、請求項 1 に記載の水筒キャップ。

【請求項 10】

前記キャップの外表面に位置するグリップ (1 1 0) を備える、請求項 3 に記載の水筒キャップ。

【請求項 11】

前記キャップは第 1 材料及び第 2 材料から作製され、前記第 2 材料は前記第 1 材料よりも軟らかい、請求項 1 , 3 , 9 又は 10 に記載の水筒キャップ。

【請求項 12】

少なくとも前記環状シールブラットフォーム (1 1 2) 、前記キャップの前記内部上面、前記キャップの内部側壁、及び前記ポートの内外表面は、第 1 部材から作製されるキャップの他の部分よりも軟らかい第 2 材料から作製される、請求項 1 に記載の水筒キャップ。

【請求項 13】

少なくとも前記環状シールブラットフォーム (1 1 2) 、前記シールリング (1 1 6) 、前記キャップの前記内部上面、前記キャップの前記内部側壁、及び前記ポートの内外表面は、第 1 部材から作製されるキャップの他の部分よりも軟らかい第 2 材料から作製される、請求項 3 に記載の水筒キャップ。

【請求項 14】

少なくとも前記グリップ (1 1 0) 、前記環状シールブラットフォーム (1 1 2) 、前記キャップの前記内部上面、前記キャップの内部側壁、及び前記ポートの内外表面は、第 1 部材から作製されるキャップの他の部分よりも軟らかい第 2 材料から作製される、請求項 9 に記載の水筒キャップ。

【請求項 15】

少なくとも前記グリップ (1 1 0) 、前記環状シールブラットフォーム (1 1 2) 、前記シールリング (1 1 6) 、前記キャップの前記内部上面、前記キャップの前記内部側壁、及び前記ポートの内外表面は、第 1 部材から作製されるキャップの他の部分よりも軟らかい第 2 材料から作製される、請求項 10 に記載の水筒キャップ。

【請求項 16】

前記第 2 材料は一体物として作製される、請求項 11 ~ 15 の何れかに記載の水筒キャップ。

【請求項 17】

前記第 2 材料は、前記第 1 材料上にオーバーモールドされる、請求項 11 ~ 15 の何れかに記載の水筒キャップ。

【請求項 18】

水筒キャップ (2 0) と導管アセンブリ (5 0) とを備え、

前記水筒キャップは、当該キャップの外表面から外方に向けて延在した少なくとも 1 つのポートを有し、

前記導管アセンブリは、多重チャネル導管部材 (5 0 2) を有し、

前記ポートは所定の長さで延在し、前記導管アセンブリと液密状態で係合して、内視鏡装置に流体を供給あるいは内視鏡装置から流体を受容するように構成された、水筒キャップ

ブアセンブリ。

【請求項 19】

前記多重チャンネル導管部材(502)は、内部チャンネル(512)及び少なくとも1つのC型外部チャンネルを有する、請求項18に記載の水筒キャップアセンブリ。

【請求項 20】

前記多重チャンネル導管部材は、少なくとも2つのC型外部チャンネル(514, 516)を有する、請求項18に記載の水筒キャップアセンブリ。

【請求項 21】

各外部チャンネルは、実質的に同じ断面積を有する、請求項20に記載の水筒キャップアセンブリ。

【請求項 22】

前記多重チャンネル導管部材(502)は、対称な断面を有する、請求項20に記載の水筒キャップアセンブリ。

【請求項 23】

前記内部チャンネル及び前記外部チャンネルは同軸である、請求項19～22の何れかに記載の水筒キャップアセンブリ。

【請求項 24】

前記多重チャンネル導管部材(502)は、一体物として作製される、請求項19～22の何れかに記載の水筒キャップアセンブリ。

【請求項 25】

前記多重チャンネル導管部材(502)は、耐水性及び耐CO₂性の材料から作製される、請求項19～22の何れかに記載の水筒キャップアセンブリ。

【請求項 26】

前記内部チャンネル(512)は、前記外部チャンネル(514, 516)を超えて、前記キャップを貫通する、請求項19～22の何れかに記載の水筒キャップアセンブリ。

【請求項 27】

第2導管(510)、及び
チャンネルコネクタ(520)をさらに備え、
前記チャンネルコネクタ(520)は、
2つの開口端を有する中空体(522)と、
前記中空体の各開口端の近傍に位置し、前記チャンネルコネクタを介して前記内部チャンネルに前記第2導管を結合した際に、前記液密結合を形成するように構成された2つの返し(528, 530)、とを有し、
前記内部チャンネル(512)は、前記外部チャンネル(514, 516)と同様の長さを有する、請求項18～22の何れかに記載の水筒キャップアセンブリ。

【請求項 28】

前記チャンネルコネクタ(520)は、さらに、前記中空体の外表面の中央部に位置する少なくとも1つの円板(524, 526)を有し、

前記円板は、前記内部チャンネル(512)及び前記水道管(510)が所定の接触長さで前記チャンネルコネクタに係合するように構成される、請求項27に記載の水筒キャップアセンブリ。

【請求項 29】

多重チャンネル導管部材を内視鏡装置に結合するためのアダプタ(540, 550)であって、

前記多重チャンネル導管と結合するように構成された第1結合部と、

前記内視鏡装置に結合するように構成された第2結合部と、

前記第2結合部上に配設され、前記アダプタ及び前記内視鏡装置間をシールするように構成されたO-リング(542, 552)と、

前記第2結合部上に配設され、途中で屈曲されて、前記内視鏡装置にスナップバックするように構成された保持機構(544, 554)と、を備え、

前記第 1 結合部及び前記第 2 結合部は、少なくとも 1 つの流体連通部を有する、アダプタ (5 4 0 , 5 5 0) 。

【請求項 3 0】

前記第 2 結合部上に配設した C O ₂ 導入口 (5 5 8) をさらに備え、前記 C O ₂ 導入口は、前記アダプタを前記多重チャンネルに結合した際に、前記多重チャンネル導管の 1 つのチャンネルに流体連通している、請求項 2 9 に記載のアダプタ (5 5 0) 。

【請求項 3 1】

エア導管をビデオプロセッサに結合するためのアダプタ (5 6 0) であって、
前記エア導管と結合するように構成された第 1 結合部と、
前記ビデオプロセッサと結合するように構成された第 2 結合部と、
前記第 1 結合部の一部を覆うケージグリップ (5 6 2) と、を備え、
前記ケージグリップ (5 6 2) は、使用者が、前記エア導管を直接引き抜くのを防止するように構成される、アダプタ (5 6 0) 。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 0】

【図 1】本内容の一実施形態における水筒キャップアセンブリの斜視図である。

【図 2 A】本内容の一実施形態における、2 つのポートを有するキャップの左上面図である。

【図 2 B】図 2 A に示すキャップの左下面図である。

【図 2 C】図 2 A に示すキャップの断面図である。

【図 3 A】本内容の他の実施形態における、単一のポートを有するキャップの左上面図である。

【図 3 B】図 3 A に示すキャップの左下面図である。

【図 3 C】図 3 A に示すキャップの断面図である。

【図 4 A】本内容の第 3 の実施形態における、3 つのポートを有するキャップの左上面図である。

【図 4 B】図 4 A に示すキャップの左下面図である。

【図 4 C】図 4 A に示すキャップの断面図である。

【図 5】本内容の一実施形態における多重チャンネルチューブの断面図である。

【図 6】本内容の一実施形態における導管コネクタの斜視図である。

【図 7 A】本内容の一実施形態における第 1 アダプタの斜視図である。

【図 7 B】図 7 A に示す第 1 アダプタの断面図である。

【図 8 A】本内容の他の実施形態における第 1 アダプタの斜視図である。

【図 8 B】図 8 A の第 1 アダプタの断面図である。

【図 9 A】本内容の一実施形態における第 2 アダプタの斜視図である。

【図 9 B】エアチューブと結合した図 9 A に示す第 2 アダプタの斜視図である。

【図 9 C】図 9 A に示す第 2 アダプタの断面図である。

| | | | |
|----------------|--|---------|------------|
| 专利名称(译) | <无法获取翻译> | | |
| 公开(公告)号 | JP2019511311A5 | 公开(公告)日 | 2020-05-14 |
| 申请号 | JP2018551766 | 申请日 | 2017-04-01 |
| [标]申请(专利权)人(译) | 美国最终复制集团股份有限公司 | | |
| 申请(专利权)人(译) | 美国最终复制集团公司 | | |
| [标]发明人 | ケイクリストファー ムルヴァジョセフ | | |
| 发明人 | マン ゲイリー ケイ クリストファー ムルヴァ ジョセフ ヒーバー ミーガン | | |
| IPC分类号 | A61B1/00 A61B1/012 G02B23/24 | | |
| CPC分类号 | A61B1/00119 A61B1/00128 A61B1/00131 A61B1/015 A61B1/12 A61B1/00137 | | |
| FI分类号 | A61B1/00.650 A61B1/012.511 A61B1/00.712 G02B23/24.A | | |
| F-TERM分类号 | 2H040/BA24 2H040/DA57 2H040/EA01 4C161/CC06 4C161/FF08 4C161/GG02 4C161/GG16 4C161/HH03 4C161/HH04 4C161/JJ06 4C161/JJ11 | | |
| 优先权 | 62/317162 2016-04-01 US | | |
| 其他公开文献 | JP2019511311A | | |

摘要(译)

本主题提供一种水瓶盖组件，水瓶盖和用于内窥镜装置的两个适配器。盖组件包括具有环形密封平台和密封环的盖，多通道导管构件和通道连接器。适配器具有定型的固定功能。其他适配器包括笼式手柄。